

## 日本のノウハウを活かし台湾のエデュテイメント産業を牽引する台湾横浜八景島

台湾横浜八景島(台湾横浜八景島股份有限公司)は、株式会社横浜八景島の台湾現地法人である。8月に、日本の水族館事業者として海外発の事業展開となる新北市型水族館「Xpark(エックスパーク)」を台湾でグランドオープンした。台湾での事業内容や今後の展望について、藤井忠光董事長を訪ねお話を伺った。



台湾横浜八景島股份有限公司  
藤井忠光董事長

### 一 会社設立の経緯について

台湾横浜八景島は、西武グループの一員であり、株式会社横浜八景島の台湾現地法人です。今回、新たに事業展開する台湾は、西武グループの株式会社プリンスホテルがホテル事業を展開するほか、西武グループの持ち株会社である株式会社西武ホールディングスが台湾鉄路管理局と包括的事业連携に関する友好協定を締結するなど、極めて重要な地域と捉えています。こうした中、今回弊社が展開する水族館は、台湾全土で進めている台湾の国家プロジェクトのフラッグシップ計画である「桃園エアトロポリス計画」の一環として、今回の開発パートナーである『国泰人寿』が進める大規模開発エリア「高鉄桃園駅前開発地区」に位置する重要な事業となります。台湾での水族館運営を主な事業ドメインとし、2019年10月台湾横浜八景島股份有限公司を設立、また海洋生物の「調査研究」「種の保存」を主目的とした社会教育機構「台湾横浜八景島股份有限公司 附設私立海洋動物園」を2020年2月に設立しました。

### 一 台湾での事業内容について

日本で4つの水族館を運営する株式会社横浜八景島のスローガンは『生きものを通じて世界に笑顔と感動を』です。これ

は弊社全事業に通ずる「リアルな生きもの」というオリジナル性を活かし、私たちならではの私たちにしか提供できないサービスで、日本はもちろん世界に“笑顔と感動”を広めていきたいという願いが込められています。水族館運営で国内を代表する企業として、またレジャー業界全体に影響力を与える、存在感ある企業として、より革新性ある、そしてグローバルな企業への成長を目指しています。今回の台湾事業もその一環であり、弊社は日本の水族館事業者としては初となる海外での事業展開を果たしました。

日本の水族館は1882年に上野動物園内に建設された小水族館「観魚室(うおのぞき)」を皮切りに、貯水槽と濾過槽の開発技術の進化、近代化と大型水族館の開発、そしてコンセプトの多様化と都市型水族館の誕生など、長い歴史を経て現在に至ります。株式会社横浜八景島も1993年5月に開業した「横浜・八景島シーパラダイス」をはじめ、品川駅前に位置する都市型水族館「マクセル アクアパーク品川」、東日本大震災復興の象徴である「仙台商みの杜水族館」など日本で4つの水族館を運営しており、水族館開発技術、環境展示手法、飼育ノウハウ、演出手法など水族館事業に関する経営資産を27年に渡り蓄積してきました。

## 日本企業から見た台湾

一方、全国に約100施設以上ある水族館大国の日本と比べ台湾の水族館は全国に8施設にとどまっています。また、台湾の水族館の利用傾向は日本とは異なり、学校の校外学習や教育を目的とした家族での利用など、エデュケーションを目的とした利用が顕著です。弊社が過去に行った台湾人を対象にした調査でも、休日のレジャーとして水族館を選択する人はわずかでした。私たち台湾横浜八景島はこれまで日本で培った経営資産を活かし、今回の台湾での水族館事業を通じて台湾のみなさまにお届けしたい価値は「新しいカタチの学びと感動」です。ただ楽しむのではなく、ただ学ぶのではなく、『楽しみを通して学びにも繋がる』ことを最も重要視しています。

2020年8月7日にグランドオープンした新都市型水族館「Xpark(エックスパーク)」は、地球上のさまざまな場所で暮らす生きものたちの環境を、最先端テクノロジーを駆使して気温や湿度、匂いや音までが緻密に計算されリアルに再現された空間に、天井から床、水槽にまで映像演出が施された360°圧倒的没入空間を創り出しています。まるで本当にその場所に行ったかのような感覚を、五感を使って体感できます。環境変化に適応し進化してきた生きものたちの不思議を、あらゆる角度から魅力的に引き立たせるための展示演出も特長の一つです。日本のエンターテインメント性と台湾のエデュケーションをバランス良く融合した13のゾーンで構成されたXparkは、尽きることのない人間の「知ることへの欲求と喜び」を満たす、世界でも唯一無二のエデュテインメント施設として誕生しました。

新型コロナウイルス対策のため、オープン当初から現在に至るまで一日あたりの入場者数を制限し、かつ入場券はすべて事前予約購入制としていますが、それでもグランドオープンの8月7日から一ヶ月弱で既に延べ24万人にご来館いただいています。Xparkオープン後は隣接するグロリアアウトレットモールの来客数が1割ほど増えたと聞いており、注目のレジャー施設として周辺の集客にもシナジー効果が出ています。

### —今後の事業について

Xparkは様々な新しいチャレンジを盛り込んだ施設です。一つは、「生きものと音楽の融合」です。通常、水族館では波の音

や生きものたちの声などの環境音を展示空間に流すのが一般的ですが、Xparkでは、展示空間や生きものたちのテーマに沿った音楽を新規制作し、目だけではなく耳から心を揺さぶるような演出を試みています。音楽制作は世界的な音楽家「久石譲」です。個性豊かな展示空間を上質な音楽が紡ぎ、まるで一本の映画を観ているかのような体験を提供します。また、館内に同時オープンしたカフェ「Xcafe by PRONTO(エックスカフェ バイプロント)」は、日本で約350店舗を誇るカフェチェーン「プロントコーポレーション」のメインブランドである「CAFFÈ&BAR PRONTO」とコラボレーションした台湾1号店となるカフェレストランです。さらにはUNIQLOや象印マホービンなど日系企業とのコラボレーション商品、キャンペーンも展開しています。そんなXparkの今後の事業として構想しているのは「Xparkのプラットフォーム化」です。水族館としての可変性、進化はもちろんですが、それ以外にもXparkのコンテンツ、ブランド資産を活かした教育コンテンツやオリジナルグッズの開発、ECによるチケット購入や通販、デジタルコンテンツ開発などのデジタルマーケティングなど、Xparkをプラットフォームとした各種事業展開を構想しています。今後はXparkの中でも外でも、台湾のすべてのみなさまに楽しみ学べるコンテンツ開発を推進していく所存です。

### —ありがとうございました

#### 台湾横浜八景島股份有限公司の基本データ

会社名	台湾横浜八景島股份有限公司
代表	董事長 藤井忠光
設立	2019年10月
資本金	3億7500万台湾ドル
事業内容	台湾での水族館「Xpark」運営など

注)2020年8月の情報による  
出所)公開資料及びヒアリングよりNRI整理